



北海道サケネットワーク
ニュースレター 44



2014. 10. 08

サケネットワークの総会とサケ会議のご案内

既にご案内のとおり、今年度の“北海道サケネットワーク総会”が下記の日程で開催されます。会員の皆様におかれましては、万障繰り合わせのうえ、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時:2014年10月18日(土) 13:00~14:00

場 所:佐藤水産文化ホール 札幌市中央区北4条西3丁目

(札幌駅南口向かいの北洋ビル3階、☎:011-200-3100)

総会に引き続き、同じ会場で例年どおり北海道サーモン協会が主催する“サケ会議”を開催します。総会後の約3時間という短い時間ですが、今年度は「サケをシンボルとした故里教育」をテーマに、海洋・山岳・地球全体に関わる生態を学びながら、青少年の「サケ教育の現状」について考えようと思っております。まさに、会員の皆様の活動に直結しそうな話題ですので、活発な討論を期待しております。以下にプログラムを紹介します。

講 演:「初等中等教育における海の生き物」(東京大学特任教授 窪川かおる)

講 演:「標津サーモン科学館の教育活動」(館長 市村政樹)

講 演:「サケを通して伝えたいこと」(北海道大学名誉教授 浦野明央)

総合討論:「サケ教育の現状と課題」(大雪と石狩の自然を守る会、札幌市豊平川さけ科学館、千歳サケのふるさと館、札幌市東白石小学校から話題提供有り)

会員の活動

初めに「大雪と石狩の自然を守る会」が発行している会報「ヌタプカムシペ」を紹介します。9月20日発行の153号は「グリーンフォーラム旭川」の40周年記念号で、28頁におよぶ重厚なものですが、自然保護に対する多彩な活動に生き生きと取り組む参加者の様子が良く伝わる親しみやすい内容でした。会員の皆様と、活動の先導役を担う役員の皆様に心から敬意を表します。また、今回は「守る会」の活動を分かり易く紹介したリーフレットも同封しますので、ご覧下さい。

札幌市豊平川さけ科学館では、去る9月23日に恒例の「サケフェスタ」が開催されました。今年はお天気に恵まれ、多くの関係団体の協賛もあり、4,500人程の来場者で賑わいました。サケの重量当てクイズや体験魚拓が人気でした。科学館のスタッフと協賛してくれた皆様、お疲れ様でした。

サケネットワーク事務局